

<p>野中 仁 のなか ひとし</p>	<p>保存科学</p>	<p>① 経歴・職歴 (財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団、県文化財保護課、県立博物館学芸員、県生涯学習文化財課、県立歴史と民俗の博物館、県立さきたま史跡の博物館、県文化資源課、県立歴史と民俗の博物館を経て県立さきたま史跡の博物館(嵐山史跡の博物館兼務)勤務。</p>
	<p>出土金属・木製品の保存処理 博物館環境管理</p>	<p>② 過去の業務実績 遺跡から発掘される金属製品や木製品の保存処理を実施。博物館では、収蔵資料の保存環境整備、IPM(総合的有害生物管理)システムの構築。文化財保護行政では、文化財建造物の保護・指定事務、刀剣登録事務、博物館における指定管理者管理事務、埋蔵文化財保護事務等を担当。</p> <p>③ 研究業績等 H18「館内生物生息状況調査(モニタリング)報告」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要 H18「防虫フィルム施工によるハエ目昆虫の侵入抑制効果」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要 H19「資料保存箱等の内部空気環境について」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要 H19「国宝金錯銘鉄剣の貸出と最新分析」埼玉県立史跡の博物館紀要 H29「さきたま史跡の博物館特別収蔵庫の資料保存環境について」埼玉県立史跡の博物館紀要 H30「長瀬総合博物館旧蔵指定文化財「古瓦」目録」埼玉県立史跡の博物館紀要 ほか</p> <p>④ メッセージ 国特別史跡埼玉古墳群や国史跡菅谷館跡を管理する博物館で、史跡の保護と活用に携わっています。また、稻荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣を含む国宝の適切な保存管理に取り組んでいます。</p>

<p>濱田 翠 はまだ みどり</p>	<p>保存科学</p>	<p>①経歴・職歴 歴史と民俗の博物館 企画担当を経て、同館 資料調査・活用担当で勤務</p> <p>②過去の業務 企画担当では博物館の広報、HPの管理を行った。資料調査・活用担当では収蔵資料の保管環境の整備、展示室での温湿度管理や空気環境調査の実施。</p> <p>③研究業績等 「画絹の物性に及ぼす断面形状・殺蛹方法の影響－大和文華館所蔵作品調査データ含めて－」『保存科学』2019 「法隆寺金堂壁画写真原版のフィルム支持体に関する赤外分光分析」、『保存科学』,2018 「在来技法で制作された画絹の科学的調査」、『保存修復学会2018年第40回大会』(ポスター発表) 「横浜市内諸遺跡出土黒曜石資料の産地推定－縄文時代中期末から後期初頭の事例－」、『文化財科学会2016第33回大会』(ポスター発表)</p> <p>④メッセージ 博物館資料をより良い状態で保存していくため、収蔵庫の環境管理や資料の状態調査などを行っています</p>
		

<p>白石 明香 しらいし さやか</p>	<p>保存科学</p>	<p>①経歴・職歴 R6からさきたま史跡の博物館で資料・展示担当として勤務</p> <p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) なし</p> <p>③ 著作・研究実績・現在、取り組んでいる研究など 「新宮市万歳の草書体一遍上人名号碑の破片資料」『保存科学』2023 「三次元計測に基づく宝塔寺塩なめ地蔵奉納台の劣化状態評価」『文化財科学会2023年第40回大会』(ポスター発表) 「天草市・祇園橋附石造記念碑の劣化と保存」『文化財保存修復学会2022年第44回大会』 「過去の写真・三次元データを用いた薬師堂石仏の崩落の検証」『文化財保存修復学会2021年第43回大会』(紙上開催) 「高橋源吉の油彩画作品材料の化学分析-制作年代に関する一考察-」『文化財保存修復学会2016年第37回大会』(ポスター発表) ほか</p> <p>④ 今年度の取り組み・抱負・メッセージ 今年度から新規採用として着任しました。収蔵庫などの環境調査や資料保存などを通して、埼玉県魅力を伝える資料をより良い状態で後世に残していけるよう、努めてまいります。</p>
		